

2 議事事項

(1)協議会委員及び支援検討部会員について

(2)足立区のひきこもり支援の基本的な考え方について

第1回支援検討部会での意見を踏まえ庁内で再検討し、以下のとおり修正・追記した。

- 1 必ずしも就労や自立を目指すものではないことを明記
- 2 文言の整理
- 3 文言の整理 自分たちごととして捉えるため“他→多”に修正
- 4 普及啓発に取組み理解の輪を広げ、本人や家族が安心して相談や支援につながることを目指す旨を明記

以下の修正案を部会で再確認し、第2回支援協議会（9月25日）に諮り、区のひきこもり支援の基本的な考え方として固める。

協議会時点案(R5.12)	事務局修正案(R6.9)
1 足立区のひきこもり支援は、ひきこもり本人やその家族の尊厳と自己肯定感の回復を主要な目的として実施します。 2 足立区のひきこもり支援の対象は、全世代のひきこもり本人とその家族とし、積極的に信頼関係を築き、保つことに注力します。 3 足立区は、庁内外の他分野、他職種の関係者に加え、地域の方々との連携を深め、誰一人取り残さないひきこもり支援体制を整えます。	1 足立区のひきこもり支援は、<u>ひきこもり本人の生きづらさに寄り添い、自己肯定感や自尊感情を取り戻すことで、本人とその家族の生きる意欲を回復させることを主たる目的として実施し、必ずしも就労や自立を目指すものではありません。</u> 2 足立区のひきこもり支援は、全世代のひきこもり本人とその家族<u>を対象</u>とし、積極的に信頼関係を築き、保つことに注力します。 3 足立区は、庁内外の<u>多</u>職種の関係<u>機関</u>に加え、地域の方々との連携を深め、誰一人取り残さないひきこもり支援体制を<u>構築</u>します。 4 <u>足立区は、ひきこもりに対する偏見や固定観念をなくし、理解の輪を広げることで、ひきこもり本人とその家族が安心して相談や支援につながるよう、普及啓発に取組みます。</u>

【参考：東京都】

ひきこもりに係る支援の基本的な考え方（3つの視点）

1 都民及び関係者への普及啓発・効果的な情報発信

（1）社会全体へのメッセージ

- ① 「誰一人取り残さない」SDGs の理念に基づく支援を浸透させる
- ② 偏見や差別的対応を排除し、当事者や家族の孤立を防ぐ

（2）当事者や家族へのメッセージ

- ① ひきこもりへの正しい理解を浸透させる

2 一人ひとりの状態・状況に応じたきめ細やかな支援

- ① 当事者一人ひとりの尊厳を守る
- ② 地域の理解者や協力者を広げる
- ③ 「当事者本位」の視点を徹底する
- ④ 家族支援
- ⑤ 当事者の多様性に合わせ、寄り添う

3 切れ目のない支援体制の整備

- ① 地域におけるネットワーク構築

(3)優先的に取り組む支援メニュー及び具体策について

① 現行の支援メニューの見える化

相談支援

「セーフティネットあだち」及び「福祉まるごと相談課」での対応をベースとした支援を実施している。

支援	ひきこもり本人	ご家族
来所相談	○	○
電話相談	○	○
メール相談	○	○
オンライン相談	△（まるごと相談課のみ）	△（まるごと相談課のみ）
アウトリーチ	○	○

上記のほか、あだち若者サポートテラス SODA においても、概ね 15 歳～25 歳を対象とした、困りごとなんでも相談を実施している。

居場所支援

「セーフティネットあだち」において実施している（要利用登録）。

現在は、暫定場所での運用のため、事前連絡のうえで日時を指定した利用となっており、リアル／オンラインの区分では、オンライン上の居場所は未整備である。

支援	リアル	オンライン
居場所支援	○（事前連絡）	未整備
予約なし居場所	未実施	未整備
年齢別居場所	未実施	未整備
性別限定居場所	未実施	未整備
屋内イベント	○：概ね月 1 開催 （誰でも可）	—
屋外イベント	未実施	—

情報発信・普及啓発

媒体		内 容
ホームページ	○	足立区HP、セーフティネットあだちHP
チラシ	△	福祉まるごと相談課の案内チラシのなかで、相談例として“ひきこもりに関すること”を掲載
セミナー	○	家族会主催、足立区主催のセミナー（それぞれ年1回）
セーフティネットあだち	○	セーフティネットあだち利用に関するリーフレットは有り
リーフレット	×	ひきこもりに関する啓発リーフレットは現在無し
支援センター	×	福祉まるごと相談課にひきこもり支援担当を設置したが、明確に支援の拠点（支援センター）であると謳っていない。

広域連携・広域支援 ○

■東京都ひきこもりサポートネット

住んでいる足立区では相談しづらいと感じるひきこもり本人やご家族もいることから、必要に応じて案内・活用・連携している。

外出支援 ×(未実施)

ひきこもり本人との信頼関係を構築したうえで、本人や家族の意思を尊重し、外出への付き添い等の支援を行う。実施も含めた検討が必要。

社会参加等への支援 △

ひきこもり本人が就労や就学、ボランティアや地域活動への参加等を望んだ際に、希望・意向に沿って支援できるような選択肢があることが大切である。

既存の支援や活動を組み合わせることで、新たなつながりを作り、切れ目のない支援を実施していくことが必要となる。

■ジョブサポートあだちの活用、活用に向けた支援

（日常生活支援、社会生活支援、就労支援などステップアップを重視した支援）

■ハローワークへの同行支援

■ボランティア等への参加支援

② 令和5年度のひきこもり支援協議会で示された支援メニュー

昨年度のひきこもり支援協議会において、以下の取組み1～3をベースとして支援メニューを整理した。

改めて、今後と具体策を提示したうえで、優先的に取組むべき支援メニューを検討する。



→優先的に取組むべき、検討すべき項目

取組み1 困りごとをまるごと受けとめるネットワークづくり

1-1 地域や関係機関との連携・交流の推進

現 状	保健センターや都ひきこもりサポートネットとの連携
今 後	地域包括支援センター、民生・児童委員等との更なる連携強化
具体策	職員による地域での講演や事業説明、個別のケース会議などを通じた連携強化

1-2 連携・支援の拠点を創設

現 状	連携・支援の拠点は福祉まるごと相談課
今 後	取組み3-1に同じ
具体策	

1-3 支援機関や地域向けセミナーの実施

現 状	取組み 3-3 に同じ
今 後	
具体策	

取組み2 誰一人取り残さない相談・支援策の充実

2-1 支援機関の相談・支援スキルの向上

現 状	今後検討
今 後	
具体策	

2-2 地域の支援人材の育成（メンター制度等）	
現 状	
今 後	今後検討
具体策	
2-3 居場所機能の充実	
現 状	事前連絡のうえでリアルでの実施
今 後	オンラインでの居場所、居場所機能の更なる充実を検討
具体策	オンラインでの居場所整備、性別や年代に配慮した居場所の設定

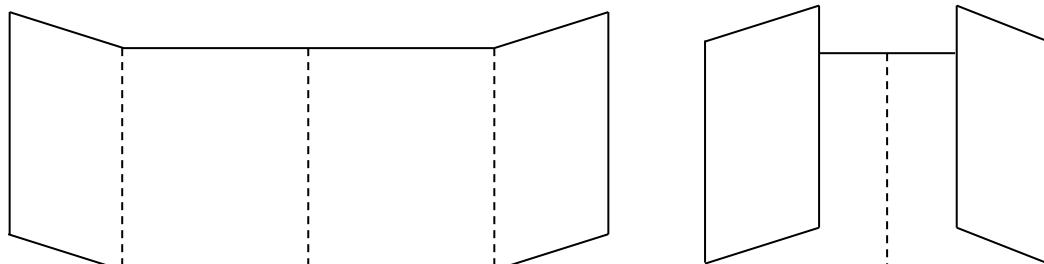
取組み 3 普及啓発によるひきこもり支援の浸透・波及	
3-1 相談・支援先の明確化、周知	
現 状	担当係は設置したが、ひきこもり支援センターは不明確
今 後	足立区ひきこもり支援センターの明確化
具体策	福祉まるごと相談課が足立区ひきこもり支援センターであることを明示
3-2 ひきこもりの理解促進のための情報発信（パンフレット等）	
現 状	なし（セーフティネットあだちの利用案内は有り）
今 後	新たにリーフレットを作成、あだち広報での特集
具体策	ひきこもりに関する理解の輪を広げるリーフレットを作成
3-3 本人、家族向けセミナーの実施	
現 状	家族会主催、足立区主催で年間計 2 回セミナーを開催
今 後	内容や開催方法の工夫・充実
具体策	オンライン配信、セミナーの様子のアrchive化を検討

(4)ひきこもり支援リーフレットの構成について

① 新たなひきこもり支援リーフレットの発行

発 行	令和6年12月頃
仕 様	カラー観音折り8ページ
サイズ (両方作成)	A5版：手に取りやすさ重視 A4版：文字の大きさ、スタンド等への置きやすさ重視
部 数	A5版：15,000部 A4版：5,000部
内 容	区のひきこもり支援情報、ひきこもり本人やご家族の思い ひきこもりへのマイナスイメージや偏見の解消につながる啓発
配付先	公共施設のほか、ひきこもり本人やご家族の目に届きやすい配布先 も検討

観音折りイメージ



② 掲載内容

■ 知る

ひきこもりとは、状態像の説明、ひきこもる心情・生きづらさ

■ 理解する

ひきこもりを取り巻く状況（推計、きっかけ、継続期間、本人の年齢）

■ 気づく

家族内、親戚内でのNG対応・大切ポイント

■ 声を聴く

家族会インタビュー内容

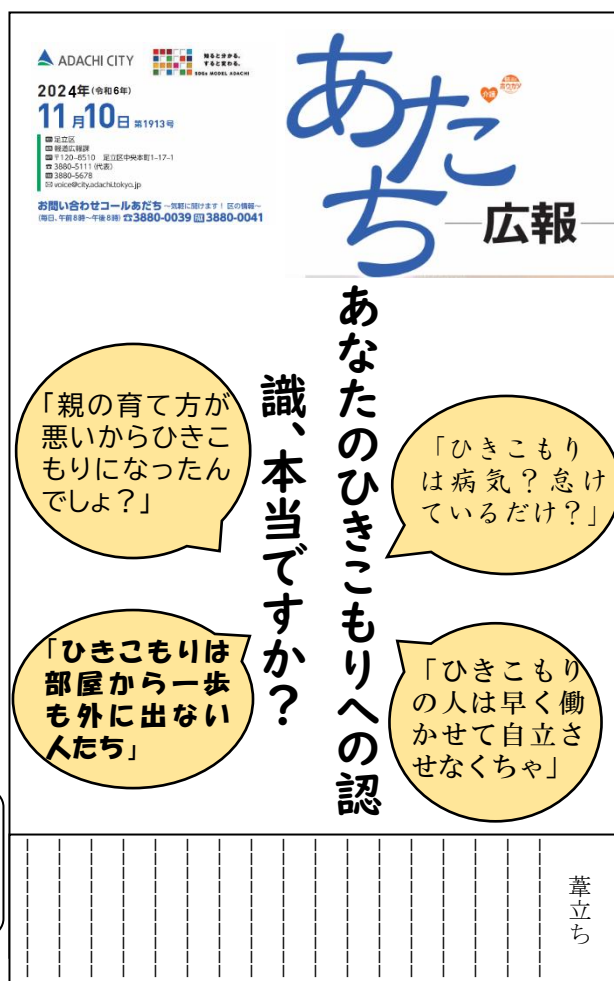
■ 案内

セーフティネットあだち、足立ひきこもり家族会、福祉まると相談課

3 報告事項

(1)あだち広報11月10日号 ひきこもり支援特集記事について

あだち広報
11月10日号
ひきこもり特集記事
表紙イメージ（案）



中面の
構成イメージ
(案)

区民への問いかけ

ひきこもりに関する
偏見・固定観念の例を
掲載し、区民に広く問
いかけるような表紙
をイメージ

◎ひきこもりについての解説

(表紙のアンサー)

ひきこもりに対する様々な偏見を解消し、区民にひきこもりについて理解してもらう趣旨の記事。東京都・KHJ発行のリーフレットの内容も借用する。

◎セーフティネットあだちの紹介

区のひきこもり支援事業である「セーフティネットあだち」の事業内容、活動の様子を紹介。居場所イベントの写真や、従事者のコメントなども掲載する。

◎家族会のインタビュー記事

足立ひきこもり家族会参加者（人選は家族会に打診済み）と、近藤区長との対談形式でのインタビュー。家族会の活動についても触れる。

◎福祉まるごと相談課の紹介

福祉まるごと相談課の事業内容の紹介

(2)足立ひきこもり家族会主催 特別講演会について

日 時	令和6年9月14日（土）午後1時50分～4時30分
会 場	学びピア21 5階 研修室1
参加者数	35名
内 容	◆第一部 「ひきこもりと生きづらさ」講演会と体験発表：13：50～15：20 ① 家族本人の体験発表（足立ひきこもり家族会） ② 全世代のひきこもり～本人や家族のおかれた社会的背景、心情、特性、生きづらさを知る～ 講師：上田 理香 氏（NPO 法人楽の会リーラ理事 足立ひきこもり家族会外部顧問） ◆第二部 「これってメンタルの問題？ ～あだち若者サポートテラス SODA の実践から～」 15：30～16：30（質疑応答含む） 講師：内野 敬 氏（精神科医 あだち若者サポートテラス SODA 室長）

(3)区主催セミナーについて

日 時	令和7年2月1日（土）、2日（日）、8日（土）、9日（日）のいずれか
会 場	調整中
内 容	調整中

※ 対面だけではなく、オンラインでの参加も可能な形式で検討中

5 今後のスケジュール・事務連絡

年	月	事業内容
令和 6年	4	セーフティネットあだち 本庁舎別館で暫定運用開始
	5	
	6	第1回協議会（書面開催）部会員を決定
	7	第1回部会 7月10日（水）
	8	
	9	第2回協議会 9月25日（水）午後6時30分～午後8時
	10	
	11	第2回部会（日程調整中）午後6時30分～午後8時
	12	「ひきこもり支援に関する新リーフレット」完成
令和 7年	1	第3回部会（日程調整中）午後6時30分～午後8時
	2	区主催ひきこもり支援セミナー 上旬～中旬 第3回協議会 2月26日（水）午後6時30分～午後8時
	3	

セーフティネットあだちの支援場所の移転について

委託事業者の変更に伴い、令和6年4月から本庁舎別館1階の会議室で暫定的に運用しているセーフティネットあだち（ひきこもり支援事業）の支援場所の移転について、区施設への移転で準備を進めています。

移転の詳細が決まりましたら、協議会委員の皆さまにも別途報告いたします。

セーフティネットあだち 令和6年4月～8月の実績

1 相談件数(延べ件数)

累計

		電話			来所			メール			訪問			計
		男	女	他	男	女	他	男	女	他	男	女	他	
新規	本人	5	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	8
	保護者	4	7	0	5	6	0	1	2	0	0	0	0	25
	その他	4	6	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	13
	行政機関	2	4	0	9	2	0	0	0	0	0	0	0	17
	小計	15	19	0	14	8	0	3	3	0	1	0	0	63
継続	本人	12	1	0	2	2	0	1	0	0	7	1	0	26
	保護者	7	14	0	10	17	0	0	0	0	1	5	0	54
	その他	1	1	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	6
	行政機関	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4
	小計	20	18	0	13	24	0	1	0	0	8	6	0	90
合計		35	37	0	27	32	0	4	3	0	9	6	0	153

2 相談者別延べ件数

本人	保護者	兄弟姉妹	親戚	行政機関	民間機関	友人	その他	計
34	79	7	0	21	0	0	12	153

3 実相談人数累計(年代別・性別)

男	女	他	実人数
0	3	0	3
9	9	0	18
3	8	0	11
7	5	0	12
4	3	0	7
10	8	0	18
33	36	0	69

4 相談内容分類

生活習慣・ 環境改善	就労	進学/通学	社会性 向上	関係機関 への連携	情報共有	その他
82	16	0	27	6	8	14

5 居場所利用者数(延べ人数) 居場所利用登録:17名

	4月			5月			6月			7月		
	男	女	他	男	女	他	男	女	他	男	女	他
10代	2	0	0	5	0	0	0	0	0	3	0	0
20代	6	7	0	9	8	0	11	5	0	12	5	0
30代	10	5	0	9	1	0	10	4	0	12	3	0
40代	3	0	0	4	0	0	6	0	0	3	0	0
50代以上	2	0	0	0	0	0	2	0	0	3	0	0
計	23	12	0	27	9	0	29	9	0	33	8	0

	8月			9月			10月			11月		
	男	女	他	男	女	他	男	女	他	男	女	他
10代	3	3	0									
20代	12	7	0									
30代	13	4	0									
40代	4	0	0									
50代以上	3	0	0									
計	35	14	0									

	12月			1月			2月			3月			計
	男	女	他	男	女	他	男	女	他	男	女	他	
10代													16
20代													82
30代													71
40代													20
50代以上													10
計													199

◆居場所事業として、6月以降月1回イベントを実施している。

6月:ボードゲーム大会 5名参加
 7月:納涼ボードゲーム大会 7名参加
 8月:ちいさな縁日 9名参加